



- 2014-2015 R I 会長：ゲイリーC.K. ホアン
- R I 第 2570 地区ガバナー：坂本 元彦
- 会長：加藤 国夫 幹事：滝沢 文夫
- 例会日：木曜日 12：30～13：30
- 例会場：丸広百貨店入間店 6 F パンケットホール
Tel. 04-2963-1111

- 会報委員長：石川 嘉彦 ■ 当番：晝間 和弘
- 事務所：〒358-0023
入間市扇台 3-3-7 ハイソ斎竹 101 号
Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788
Email：iruma-rc@jupiter.plala.or.jp

第28号 2849回例会 2015年 1月22日(木)

●会長の時間

加藤国夫会長

先日 20 日は入間市青年会議所の賀詞交歓会に出席して参りました。鈴木理事長の 2015 年度のスローガン「時代を創る先駆けであれ」を力強い宣言から始まりました。基本方針の中に、「運動発信には、行動する事が伴わなければなりません。知っていても行動しなければ、知らないも同然です。知ると言う事は行動する事の始まりです」このような決意が何よりも重要です。行動に移さなければ、私たちの望んだ結果は生まれてはきません。熱気に包まれ名刺交換も盛んに行われ、入間 RC への指名が第一の締めでしたので、会員増強の話をさせて頂き元氣・やる気・を頂いて帰って参りました。

私たち入間 RC も残された半年間、出来る事は何でもやり、楽しく、意義あるロータリーライフ、共有できる年度になるよう努力をしておりますのでさらなるご協力お願い致します。

今年は新年早々から風邪により、体調も定まらず、皆様には不快な時間を過ごさせてしまい、申し訳なくお詫び申し上げます。我が家では、元日に「秩父御嶽神社」に初詣でに参り、翌日からスキー場で新年を迎える習わしです。今年も楽しみながら滑り、宿に帰って風呂、食事の時に風邪らしき症状がでまして、旅館の若女将に風邪薬を用意してもらい、お酒を飲みながら風邪薬を飲んだのが、悪かったのかどうかは分かりませんが、翌日は滑る状態ではなくなり、一日中寝ていました。「病は気から」と良く言いますが、体調を崩すと「いらざる」事まで考える様になるものです。毎年スキーの帰りには群馬のある寺にお参りをして帰って来たのですが、昨年はお参りもせずに帰ったことを思い出しました。その寺と言うのは「迦葉山弥勒寺」です。沼田市上発知町にある曹洞宗の寺院で、沼田市北部にそびえる迦葉山の中腹に鎮座。寺号は「迦葉山 龍華院 弥勒護国禅寺」と言いますが、

一般には単に「迦葉山」と呼ばれることが多いようです。天狗の寺としても知られ、高尾山薬王院、鞍馬寺と共に「日本三大天狗」の一つに数えられ、徳川初代将軍の祈願所として御朱印百石・十万石の格式を許された由緒あるお寺です。体調が完全に回復しましたら、参拝するつもりです。

●幹事報告

滝沢文夫幹事

1. 下期の会費納入をお願いします。
2. 1/31 地区クラブ奉仕部門セミナーで、公共イメージアップに役立った活動について岩崎会員の発表が予定されています。
3. 次週は武蔵クラブにて夜間新年例会です。
4. 2月12日、19日例会さくら草ホールに変更。

●委員長報告

親睦委員会

大野賢次委員長

来週は新年会で武蔵クラブにて午後6時半より行います。又、今夜は「和食よへい」にて家庭集会を開きますので、宜しくお願い致します。

<ニコニコBOX>

忽滑谷明 SAA

繁田光君～馬路さん田中さん後藤さん本日の卓話頑張ってください。晝間和弘君～娘の通う青山学院が箱根駅伝で総合優勝しました。田中快枝君～本日の卓話温かい心でお聞きください。忽滑谷明君～繁田さん晝間さんニコニコ投稿ありがとうございます。

本日¥4,000

累計¥566,500

◆回覧、配布物

- ①茶の香めーる Vol. 55
- ②ロータリーリーダーシップ養成講座の開催
- ③入間市賀詞交歓会御礼
- ④1/29 新年会参加申し込み出欠表
- ⑤他クラブ週報&例会変更のお知らせ
- ⑥加藤会長より「論語」解説 ⑦週報 27号

■ ■ ■ 会員卓話「我等の生業」 ■ ■ ■

馬路宏樹会員



私の職業分類は仏教で曹洞宗長徳寺の住職を勤めております。私の職業奉仕とは実際にどのような行動を行えば良いのでしょうか。例えば「和顔愛語」という言葉があります。いつも笑顔を絶やさず、優しい言葉づかいで人に接するように心掛けています。次に差別をしないでみんな平等にすること。正しい知識に基づき冷静に行動することなどが大切だと思います。さらに、曹洞宗の掲げるスローガンに「人権・平和・環境」があります。「殺すことなかれ 殺させることなかれ」「差別することなかれ 差別をゆるすことなかれ」「美しき地球と未来を子どもたちに」を合言葉に実践してまいります。

かつて私も会員だった埼玉第2青年会の活動ではミャンマー難民に図書館を建設すべく寄付を行い、タイ北部にある難民キャンプに図書館1棟を寄贈する事ができ、その図書館の絵本に現地のカレン語などに翻訳したシールを貼り付ける作業を行い、落成式に200冊の絵本を、船便で送ると時間が掛かるので、各自20冊づつスーツケースに入れて運びました。その時の子どもたちの笑顔が忘れられません。同じころ、新潟県で中越地震が起き、会の有志で炊出しのボランティアに参加しました。避難所の学校や車で生活している方に300人前を大鍋で作り給事します。修行時代に食事を担当する庫院での経験が役立ちました。今回の東日本大震災でも、地元僧侶の方は次々とご遺体の運ばれてくる火葬所で、声を嗄らして読経されまた、避難所として寺院を開放されたそうです。

私たちの埼玉県佛教会では毎年、さいたま市の更生保護施設「清心寮」に寄付を行っています。清心寮とは保護観察の対象者で帰住先がない方が生活する場所です。また、私もボランティア、奉仕の気持ちで保護司をお受けしました。このような活動を通して仏教者として、住職としての職業奉仕の報告させていただきました。

田中快枝会員



私の社会保険労務士という立場での職業奉仕とは何かを考えた場合、関係する会社や、そこで働く社員の方達の労働環境を良くする事と思います。昨年ユニオンを絡めた労働問題がありました。1.カラオケボックスでの日中勤務のワンオペ一人なので休憩が取れない。会社に一人では大変な時もあり、人を入れてほしいとの請求をしたが聞き入れてくれず、神経が病み円形脱毛症になり精神科通院。当日、本人と話をしている際に以前より神経科に罹っていた事が判明。

2.外国人研修生が業務上の怪我(労災)をし、左手薬指の神経を受傷し完治に至っていないまま帰国するにあたり、慰謝料及び休業補償を250万円要求されました。最終的には会社の社長がユニオンに出向き200万円位で解決。

どんな人物がユニオンに行くのか。誰でも行きます。今話をした2人共に見た目では大変大人しいタイプです。クレーマーでもありません。外国人研修生などは、外国人を専門に扱っているようなユニオンに相談に行っています。インターネットなどの情報があふれている現在、また、ブラック企業などの言葉を毎日目にするような現在、法令を守らなければ痛い目に合う時代となりつつあります。労働者から労務問題を提起され業績が悪くなってしまっただけでは手遅れの場合もあります。雇用環境を改善するという事は簡単ではないですが、これからの時代、無視することはできないでしょう。

後藤健会員



職業奉仕の声明にもある、「自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てる事」とあります。当社にも、企業指針があります。「電気を通じて地域と社会に貢献し、信頼される技術力をもって電気設備による事故撲滅する」この指針の中での職業奉仕は、まさしく私の企業は鉄道関連電気工事を施工する企業として、鉄道に関する事故を発生させない事その為には、決められたルールを愚直に守り、安全第一に確実な施工をする事。夜間での短時間作業ゆえに見落としや、不具合等無い様に緊張感をもって朝一番の列車が無事に運行できるように施工しております。社会インフラを整備する企業として、輸送ダイヤを守る為の仕事です。

地域に貢献する事としては埼玉県と入間市にも指名参加を提出し、町作りに貢献する事。埼玉県内の防犯街づくり、防災協定に基づく災害時の復旧支援等です。又、震災以降に発生した、電力不足を踏まえ省エネルギーの普及に関する、提案及び施工が挙げられます。LED照明の提案、既存照明を使用しての電力量の削減、再生可能エネルギー、太陽光発電業務等です。

産業用発電システムの今後の展開としましては、資源エネルギー庁からのメール等を確認しましたところ申請の厳格化、設備認定までの期間の延長が始まり、これまでとは、違う形態でのシステム化が今後の再生可能エネルギー市場になってまいります。今後とも、地域と社会に貢献する企業を目指してまいります。

<出席報告>

田中快枝委員長

会員数	出席数	出席率	前々回修正率
39名	25名	67.6%	84.2%

事前欠席連絡 3名